

おごせ

昆虫と自然の館

通信②

ナガサキアゲハ「チョウ目・アゲハチョウ科」

ナガサキアゲハは大きな黒いアゲハチョウです。普通のアゲハ類は、尻尾のような突起が後ろバネにあります。本種にはありません。名前は長崎で見つかったことに由来します。◆江戸時代は長崎だけが外国との交易場所で、商人だけでなく、軍人、医者、さまざまな職業の人がやってきました。その中に、日本の研究で著名になるオランダ人の医者、シーボルトがいました。ナガサキアゲハは彼により見つけられ、学界に報告されま



飛翔中のナガサキアゲハ（メス）

した。学名は日本の植物研究の先駆者、チユンベリー（ツンベルク）に献名されています。◆近年の温暖化で南の生きものが北上して、関東で見つかるようになりました。昭和時代まで九州や四国、本州西南部に分布していた本種も、遂に2000年、埼玉県に現れました。以来、県内各地で増えています。◆多くのアゲハチョウの仲間のように、幼虫の餌植物はミカン科植物ですが、本種はとくに栽培ミカンに執着します。「ゆずの里」を標榜する越生では要注意です。神奈川県の栽培放棄のミカン畑で調べたところ、越冬中のアゲハチョウ類の蛹（ごみ）の9割がナガサキアゲハでした。この事実は、ここ数年でいかに本種が増えたかを物語るものです。◆冬を越した蛹から5月に成虫が羽化し、次世代は7、8月に現れます。夏世代は春世代より数が多くなります。◆大きな蝶ですから幼虫も大きく、いじめると頭の後ろから赤い突起をニョキッと出し、強烈な匂いをふりまきます。小さな虫は、この匂いに降参します。

（牧林 功）

Art Museum

おごせ アートミュージアム



1年 神邊 洸太郎さん
『みらいのどうぶつえん』



6年 高山 日和さん
『春風にそよぐ花』

梅園小学校

6月の納税

町 県 民 税 第1期
(7月2日まで)

人口と世帯

5月1日現在
()は前月比

| | |
|-----|--------------|
| 総人口 | 12,714人(-30) |
| 男性 | 6,337人(-18) |
| 女性 | 6,377人(-12) |
| 世帯数 | 4,968世帯(+3) |

あとかぎ

この4月から広報おごせの担当をさせていただくこととなりました『月』と申します。もともと文章を書くことが苦手であり、また、写真のセンスもほとんどないことから、連日深夜編集作業に悪戦苦闘しております。そんな私ですが、みなさんに進んで手に取っていただけるような楽しい広報紙を作れるよう、一所懸命頑張る気持ちでありますので、どうぞよろしくお願いいたします。もしイベントや街角で、『広報おごせ』の腕章を付けた怪しい男がカメラ片手にうろうろとしているのを見かけましたら、どうか温かい目で見守ってやってください。(月)